

千葉大学大学院看護学研究科 学位授与の方針（博士前期課程）

博士前期課程では、学士課程で築いた基礎の上に、以下の知識・能力を修得する。

「自由・自立の精神」

- 看護学と看護実践の往還を具現化する教育研究者、組織変革に向けたリーダーシップを発揮する高度実践者ならびに看護管理者として、自己の学識と経験を生かした柔軟な思考能力と深い洞察に基づき、主体的に行動できる。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

- 国内外の多様な文化・価値観、社会、自然、環境とその変化について深い理解をもち、地球規模的な視点からの看護学の貢献の洞察に基づき、社会に貢献することができる。

「専門的な知識・技術・技能」

- 看護学における研究課題を探究するために必要な基礎的研究能力、および、専門的な知識・技術・技能を生かし、幅広い視野から柔軟に思考できる。
- 新たな価値体系の創造力・指導力に関する基礎的理論や知識を修得し、イノベーション創出に貢献することができる。

「高い問題解決能力」

- 看護学の専門性に根ざした課題に対し、専門領域の看護実践に必要な看護の諸理論、方法に関する知識を適用し、多様な人々と協調・協働しながら、健康社会を支える問題に応じて適切な看護を他者と協調・協働しながら実践できる。